

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

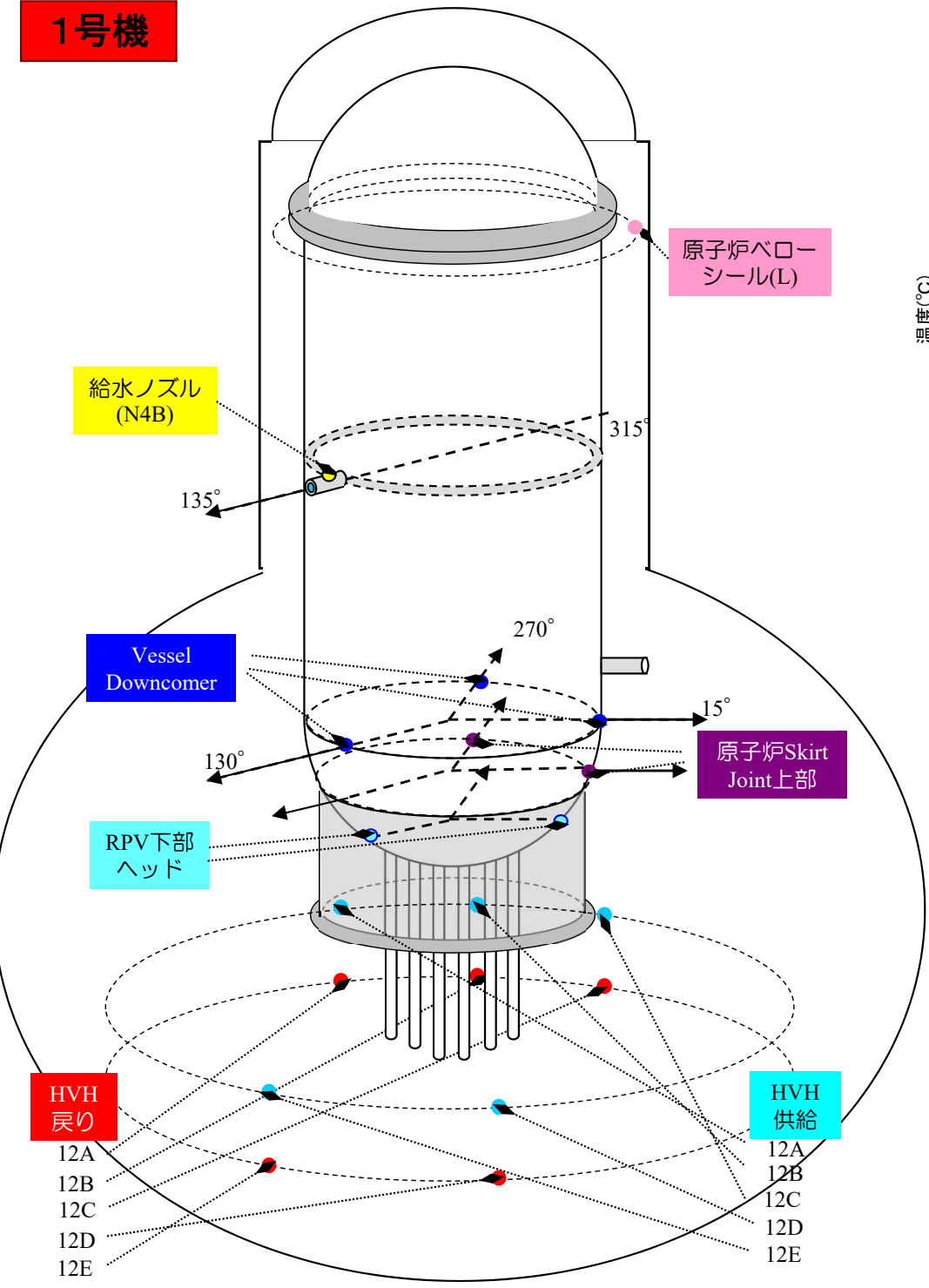
号機	1号機		2号機		3号機	
	6月26日	7月24日	6月26日	7月24日	6月26日	7月24日
原子炉注水状況	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (6/26 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.4m ³ /h (7/24 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (6/26 11:00 現在)	給水系：1.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (7/24 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (6/26 11:00 現在)	給水系：1.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (7/24 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：22.0℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：21.8℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：21.8℃ (6/26 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：23.9℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：23.7℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：23.7℃ (7/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：27.2℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：28.2℃ (6/26 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：29.1℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：30.3℃ (7/24 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：24.9℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：24.0℃ (6/26 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：27.1℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：26.2℃ (7/24 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：22.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.8℃ (6/26 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：24.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：23.7℃ (7/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：27.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：27.4℃ (6/26 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：29.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：29.3℃ (7/24 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：25.1℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：23.5℃ (6/26 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：27.5℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：25.8℃ (7/24 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.40kPa g (6/26 11:00 現在)	0.34kPa g (7/24 11:00 現在)	2.68kPa g (6/26 11:00 現在)	3.15kPa g (7/24 11:00 現在)	0.38kPa g (6/26 11:00 現在)	0.34kPa g (7/24 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH)：-Nm ³ /h (JP)：27.73Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/26 11:00 現在)	RPV (RVH)：-Nm ³ /h (JP)：27.99Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (7/24 11:00 現在)	RPV：11.29Nm ³ /h ※5 PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/26 11:00 現在)	RPV：8.21Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (7/24 11:00 現在)	RPV：16.80Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/26 11:00 現在)	RPV：16.94Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (7/24 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (6/26 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (7/24 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.06vol% (6/26 11:00 現在)	A系：0.08vol% B系：0.08vol% (7/24 11:00 現在)	A系：0.12vol% B系：0.09vol% (6/26 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.06vol% (7/24 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.00E-04Bq/cm ³ B系：1.01E-03Bq/cm ³ (6/26 11:00 現在)	A系：9.00E-04Bq/cm ³ B系：1.00E-03Bq/cm ³ (7/24 11:00 現在)	A系：ND(1.5E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.4E-01Bq/cm ³ 以下) (6/26 11:00 現在)	A系：ND(1.5E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.4E-01Bq/cm ³ 以下) (7/24 11:00 現在)	A系：ND(2.2E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.2E-01Bq/cm ³ 以下) (6/26 11:00 現在)	A系：ND(2.2E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.2E-01Bq/cm ³ 以下) (7/24 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	28.8℃ ※6 (6/23 5:00 現在)	30.1℃ (7/24 11:00 現在)	28.4℃ (6/26 11:00 現在)	30.2℃ (7/24 11:00 現在)	27.6℃ (6/26 11:00 現在)	29.5℃ (7/24 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	3.85m ※6 (6/23 5:00 現在)	3.44m (7/24 11:00 現在)	2.96m (6/26 11:00 現在)	3.46m (7/24 11:00 現在)	3.17m (6/26 11:00 現在)	4.47m (7/24 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	6月26日	7月24日	6月26日	7月24日	6月26日	7月24日
使用済燃料 プール水温度	15.9℃ ※4 (4/10 11:00 現在)	15.9℃ ※4 (4/10 11:00 現在)	23.1℃ (6/26 11:00 現在)	26.7℃ (7/24 11:00 現在)	22.9℃ (6/26 11:00 現在)	26.2℃ (7/24 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	6.71m (6/26 11:00 現在)	6.71m (7/24 11:00 現在)	2.60m (6/26 11:00 現在)	2.95m (7/24 11:00 現在)	2.55m (6/26 11:00 現在)	3.15m (7/24 11:00 現在)

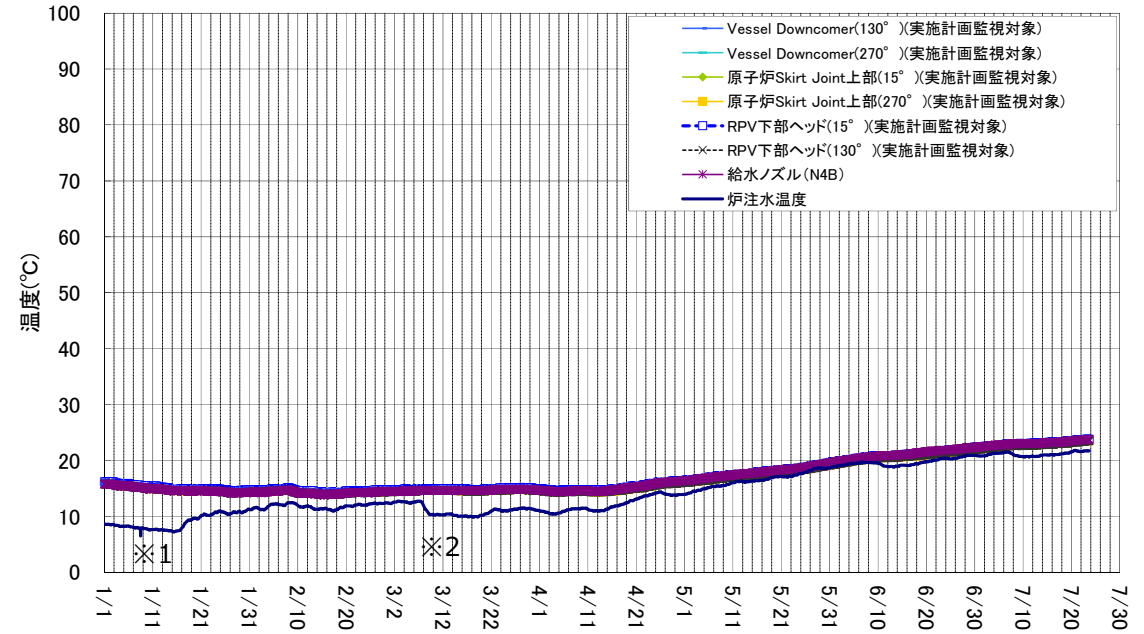
※1：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する
 ※2：窒素封入停止中
 ※3：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4：4号機使用済燃料プール一次系ポンプ停止中のため、4号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載
 ※5：「RPV側N₂流量」＝「総流量(FI-PSA-2U-001)」－「フロー用流量(FI-PSA-2U-004)」
 ※6：2号機使用済燃料プール循環冷却停止中のため、2号機使用済燃料プール水温度に関しては至近のデータを記載

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約30℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

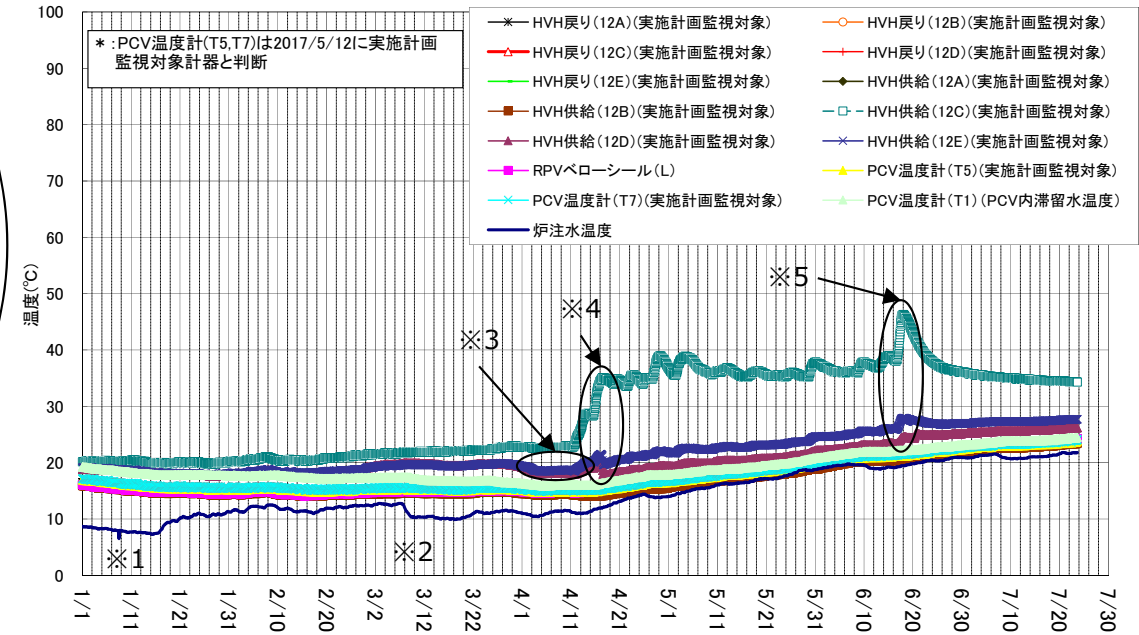
1号機



1号機 原子炉圧力容器まわり温度(1/1~7/23)

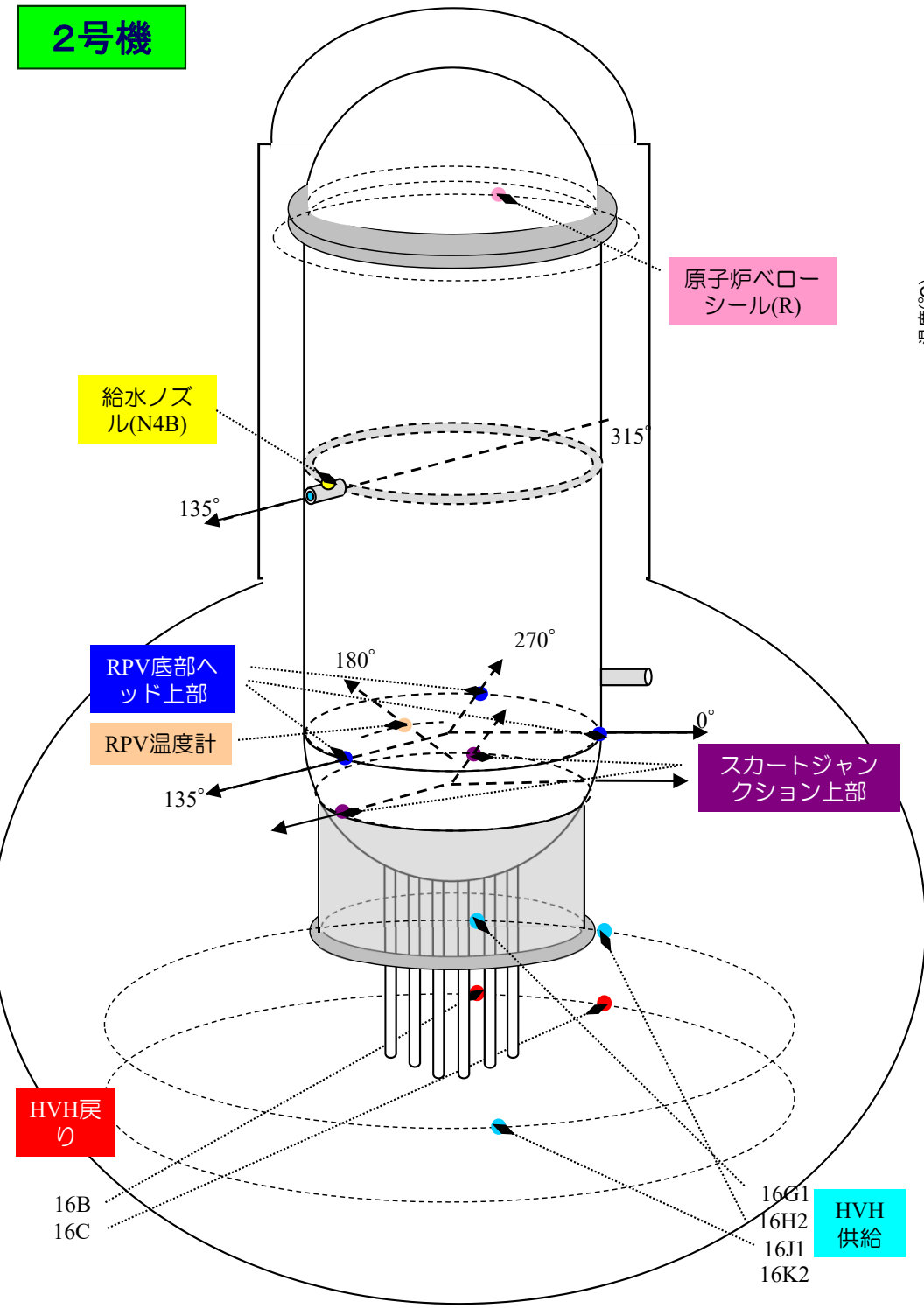


1号機 D/W雰囲気温度(1/1~7/23)

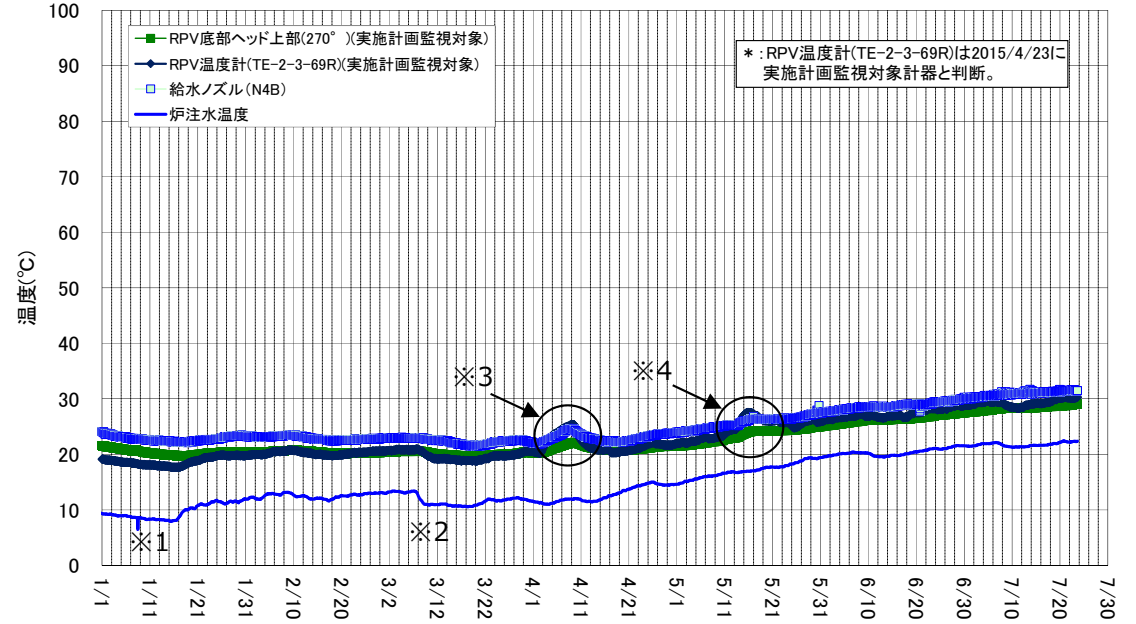


- ※1 1/8 炉注水源切替作業に伴いデータ変動
- ※2 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動
- ※3 3/25~4/16 炉注流量変更操作に伴いデータ変動
- ※4 4/11 PCV減圧作業に伴いデータ変動
- ※5 大気圧の変動に伴いデータ変動

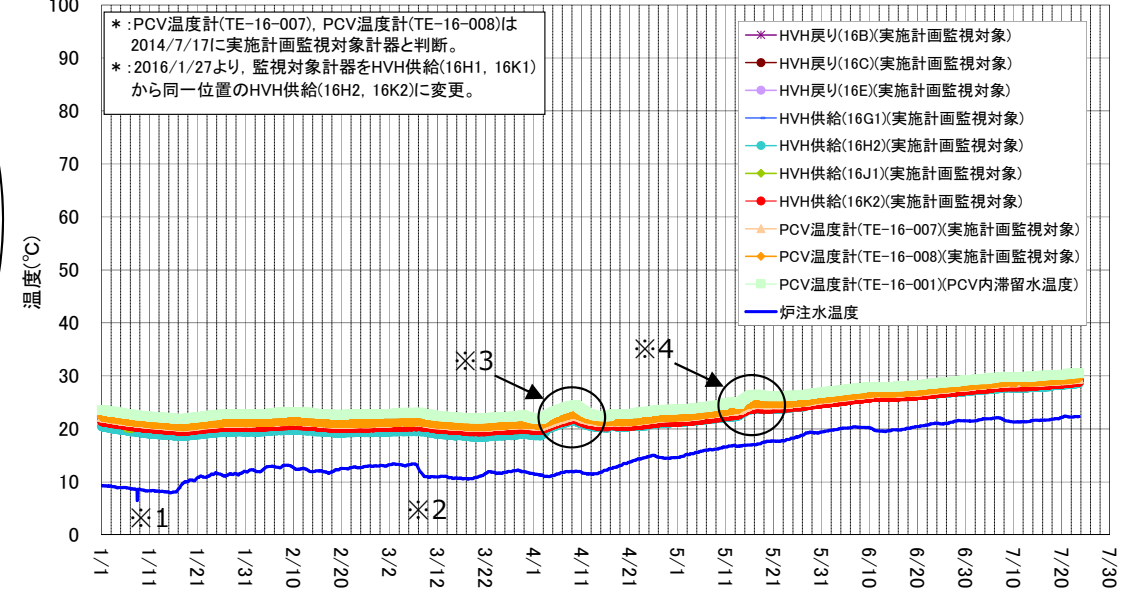
2号機



2号機 原子炉压力容器まわり温度(1/1~7/23)

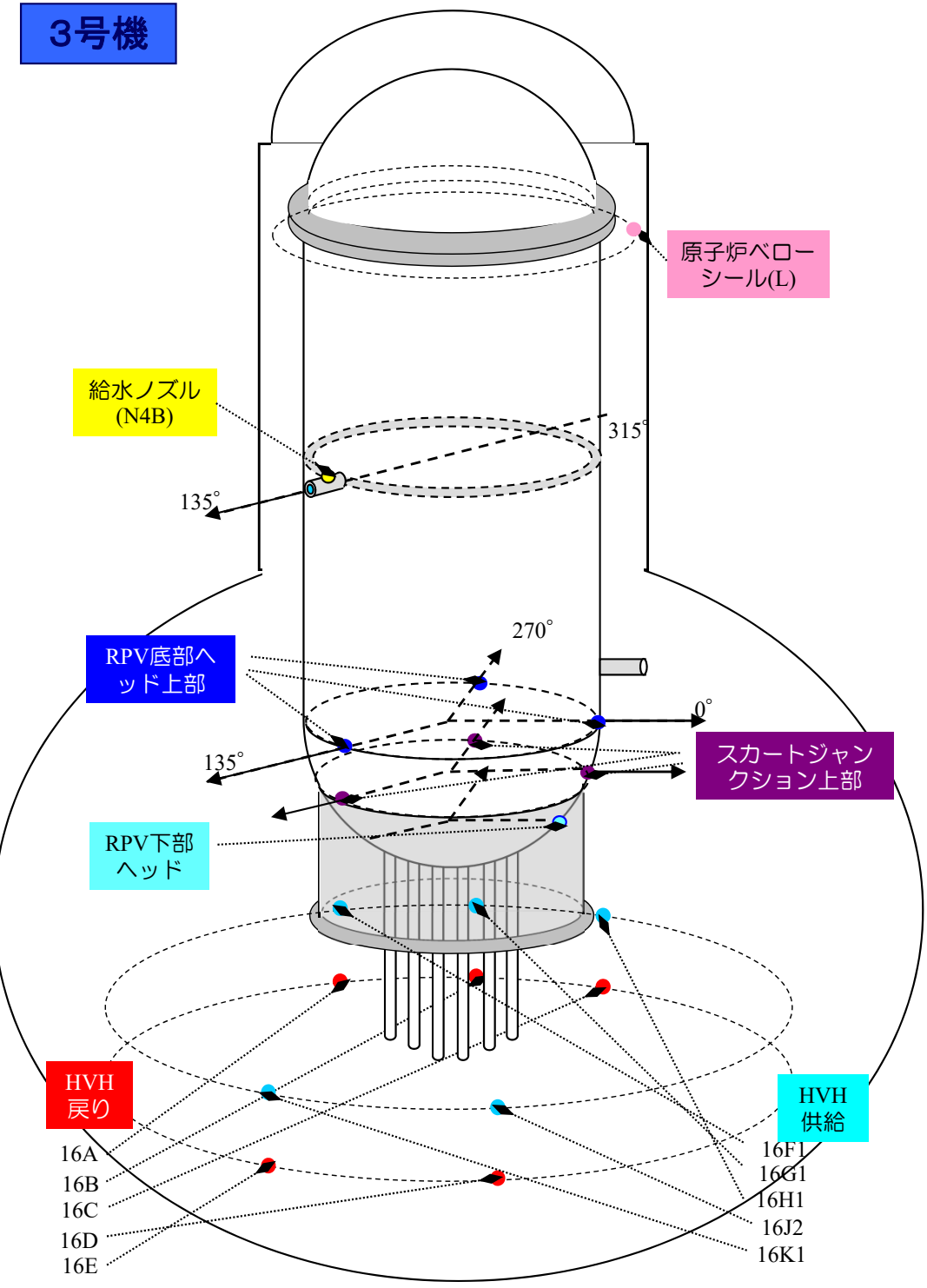


2号機 D/W雰囲気温度(1/1~7/23)

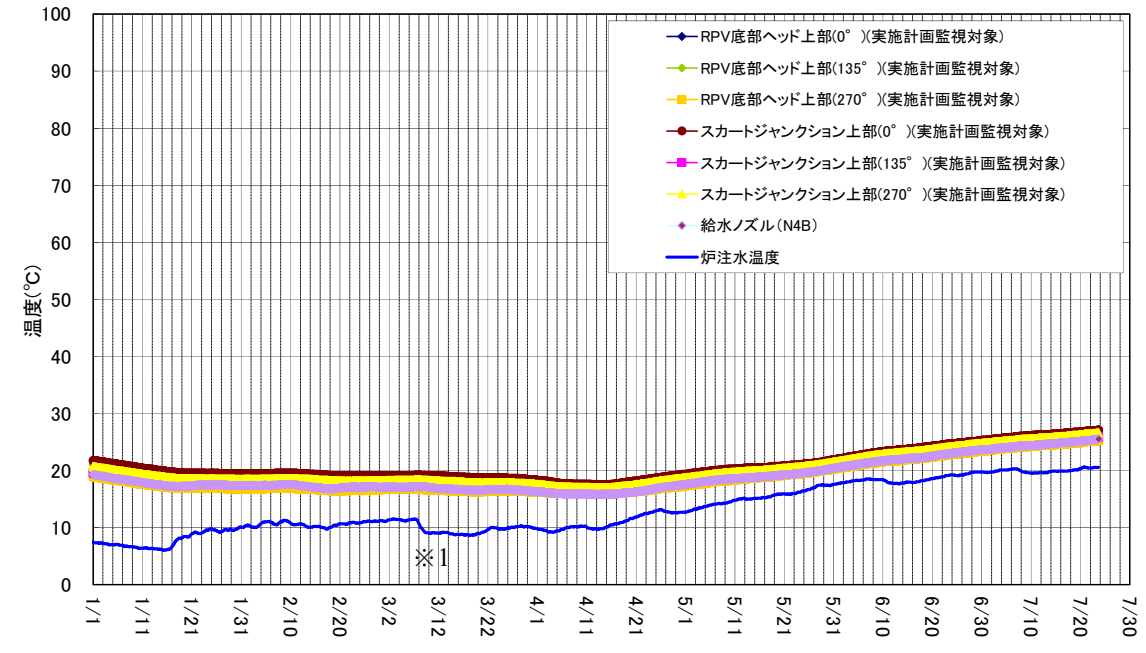


※1 1/8 炉注水源切替作業に伴いデータ変動
 ※2 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動
 ※3 4/2~4/9 炉注流量低減試験に伴いデータ変動
 ※4 5/13~5/17 炉注流量低減試験に伴いデータ変動

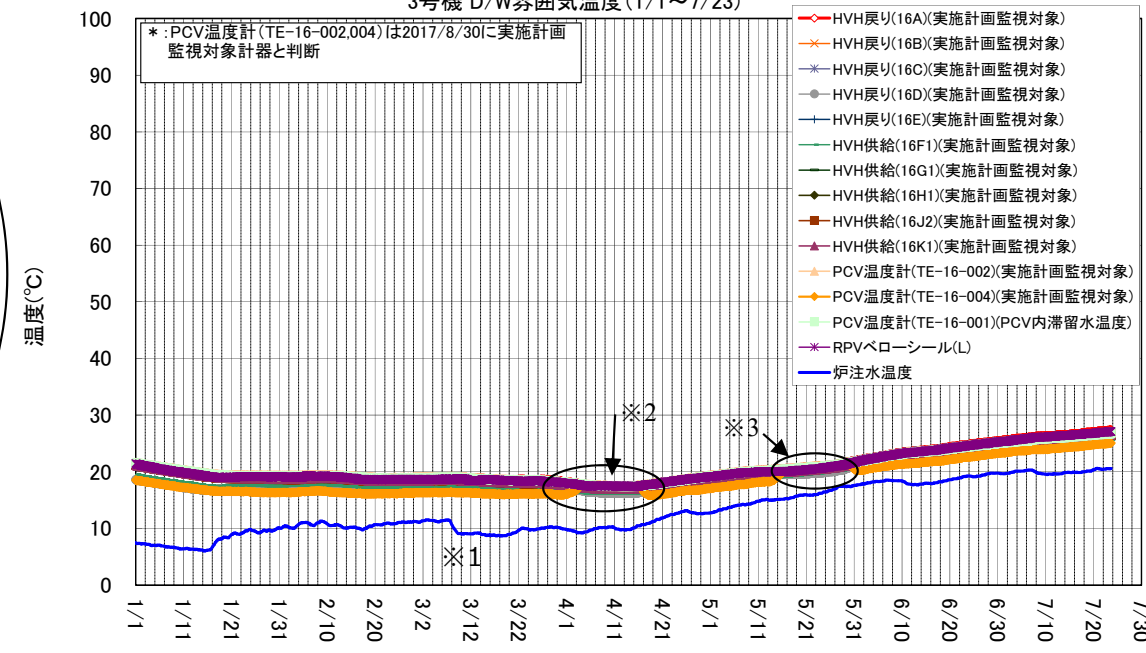
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度(1/1~7/23)



3号機 D/W雰囲気温度(1/1~7/23)



※1 3/7 炉注水供給ライン切替に伴いデータ変動
 ※2 3/25~4/16 炉注流量変更操作に伴いデータ変動
 ※3 5/7~5/29 炉注流量変更操作に伴いデータ変動

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足

②1~4号機タンク貯蔵量

・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
・蒸発濃縮装置は全台停止中

③5, 6号機滞留水貯蔵量

・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり

④廃棄物発生量

・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約1,840 m ³	※7
2号機	約5,010 m ³	T.P.-1,017
3号機	約6,370 m ³	T.P.-948
4号機	約4,170 m ³	T.P.-1,212
合計	約17,390 m ³	

(合計):-1540[m³/4週] (合計):-670[m³/週]

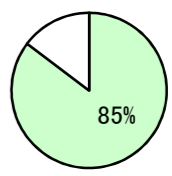
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約11,420 m ³	T.P.1,551
高温焼却炉建屋	約3,270 m ³	T.P.459
合計	約14,690 m ³	

(合計):+960[m³/4週] (合計):+710[m³/週]

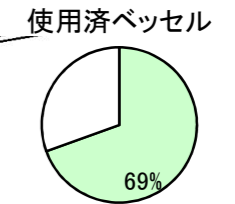
	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	840 m ³	1,200 m ³
SPT(B)	739 m ³	3,100 m ³
合計	-108[m ³ /4週]	+302[m ³ /週]

④廃棄物発生量

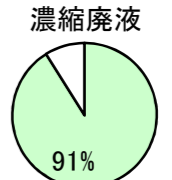
廃スラッジ



保管量:597/700[m³]*3

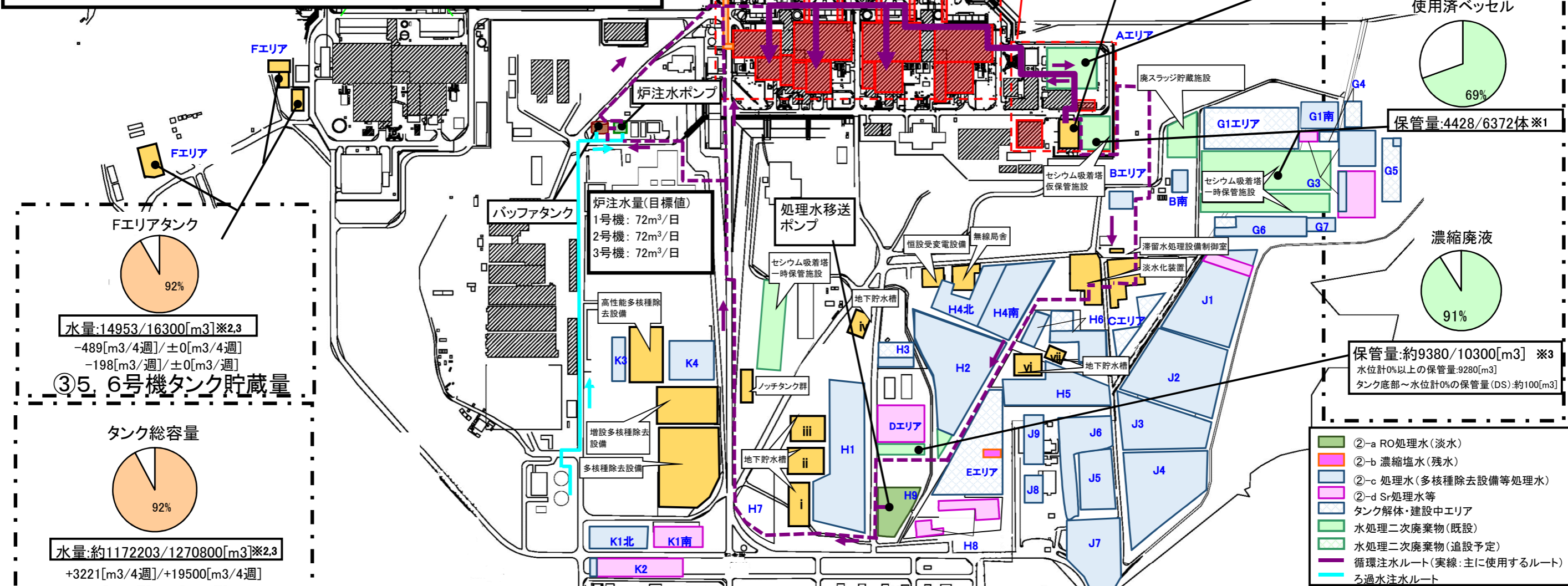


保管量:4428/6372体*1

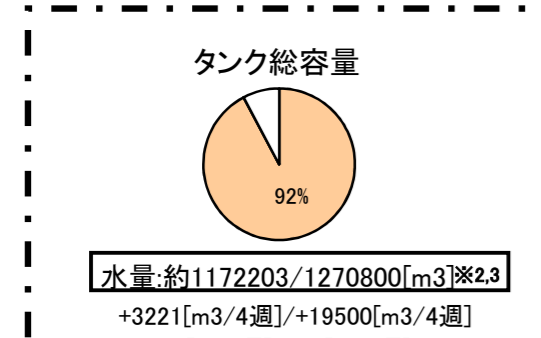


保管量:約9380/10300[m³] *3
水位計0%以上の保管量:9280[m³]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c 処理水(多核種除去設備等処理水)
- ②-d Sr処理水等
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート

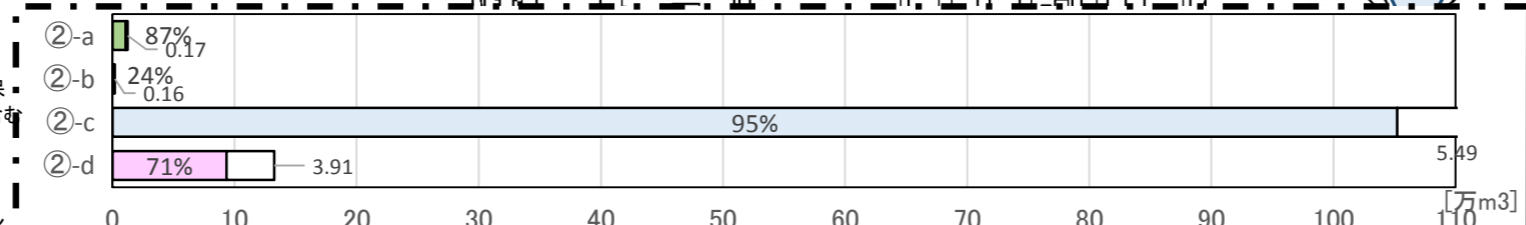


③5, 6号機タンク貯蔵量



②+③タンク貯蔵量合計

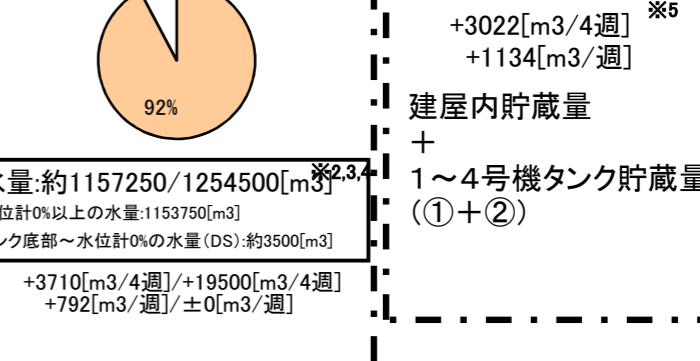
- ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
- ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い
- ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
- ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
- ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約110m³/週)、その他移送量(約20m³/週)の合計約130m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
- ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
- ※7 1号機T/Bはすでに水抜きが完了しているため、水位を「-」表記
- ※8 フランジ型タンクに貯蔵するSr処理水の処理完了(2018/11/17) フランジ型タンクに貯蔵する多核種除去設備等処理済水の移送完了(2019/3/27)。引き続き、残水処理を進める観点から、以後、フランジ型タンクのタンク底部~水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める
- ※9 タンクエリア毎に、タンク水量・容量の算出方法が異なっていたため全エリアのタンク水量・容量算出方法を統一(2019/7/11)



②-a RO処理水(淡水)	②-b 濃縮塩水(残水)	②-c 処理水(多核種除去設備等処理済水)	②-d Sr処理水等
水量:約10941/12600[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:10041[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約900[m ³]	水量:約500/2100[m ³]*2,3 水位計0%以上の水量:約400[m ³] タンク底部~水位計0%の水量(DS):約100[m ³]	水量:約1052365/1107300[m ³]*2,3,4,6,8 水位計0%以上の水量:1050465[m ³]*2,3,4,6,8 タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1900[m ³]	水量:約93444/132500[m ³]*2,3,9 水位計0%以上の水量:92844[m ³]*8 タンク底部~水位計0%の水量(DS):約600[m ³]
+1158[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] -253[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	±0[m ³ /4週]/±0[m ³ /4週] ±0[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	+7935[m ³ /4週]/+19700[m ³ /4週] +1637[m ³ /週]/±0[m ³ /週]	-5383[m ³ /4週]/-200[m ³ /4週] -592[m ³ /週]/±0[m ³ /週]

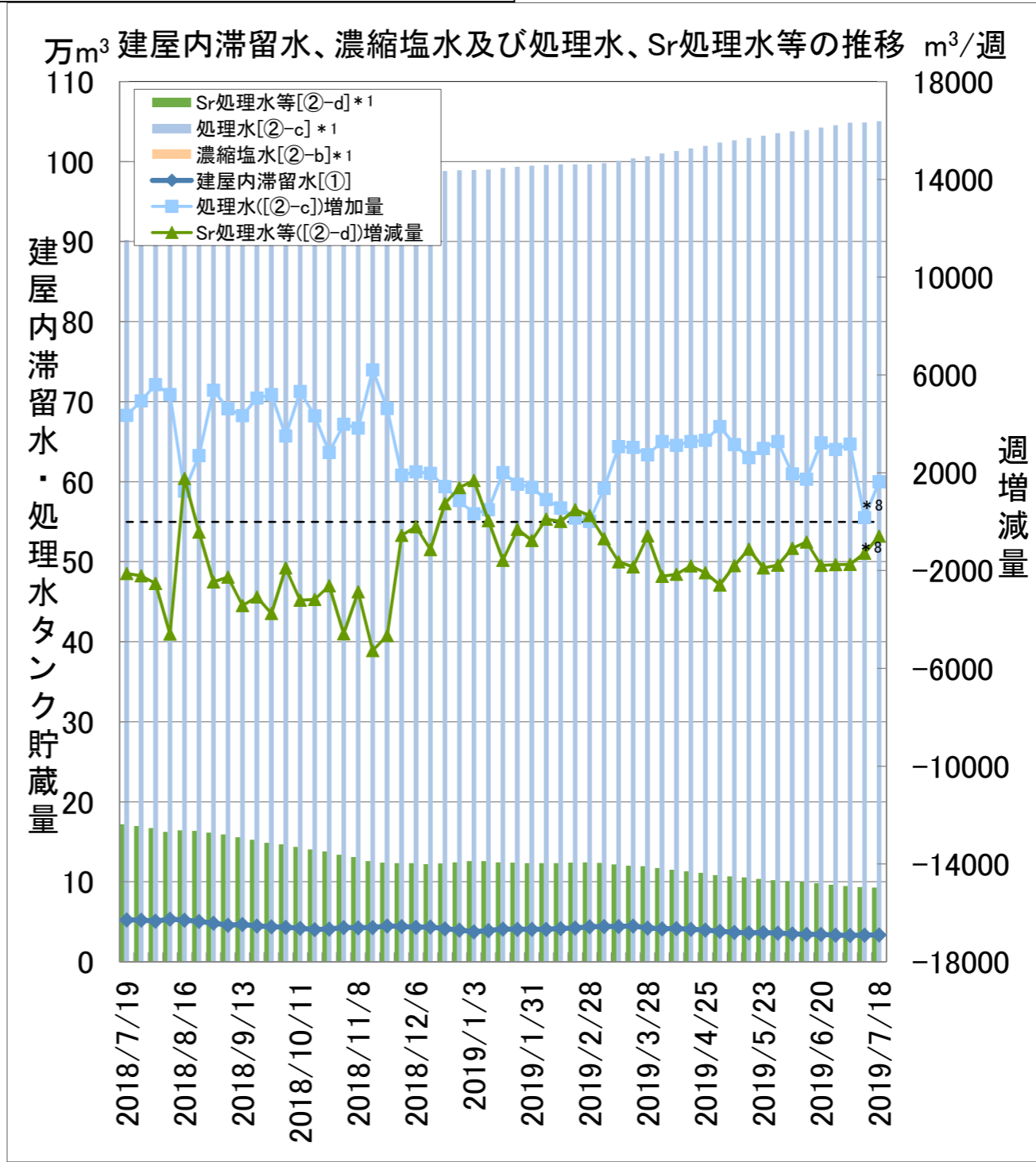
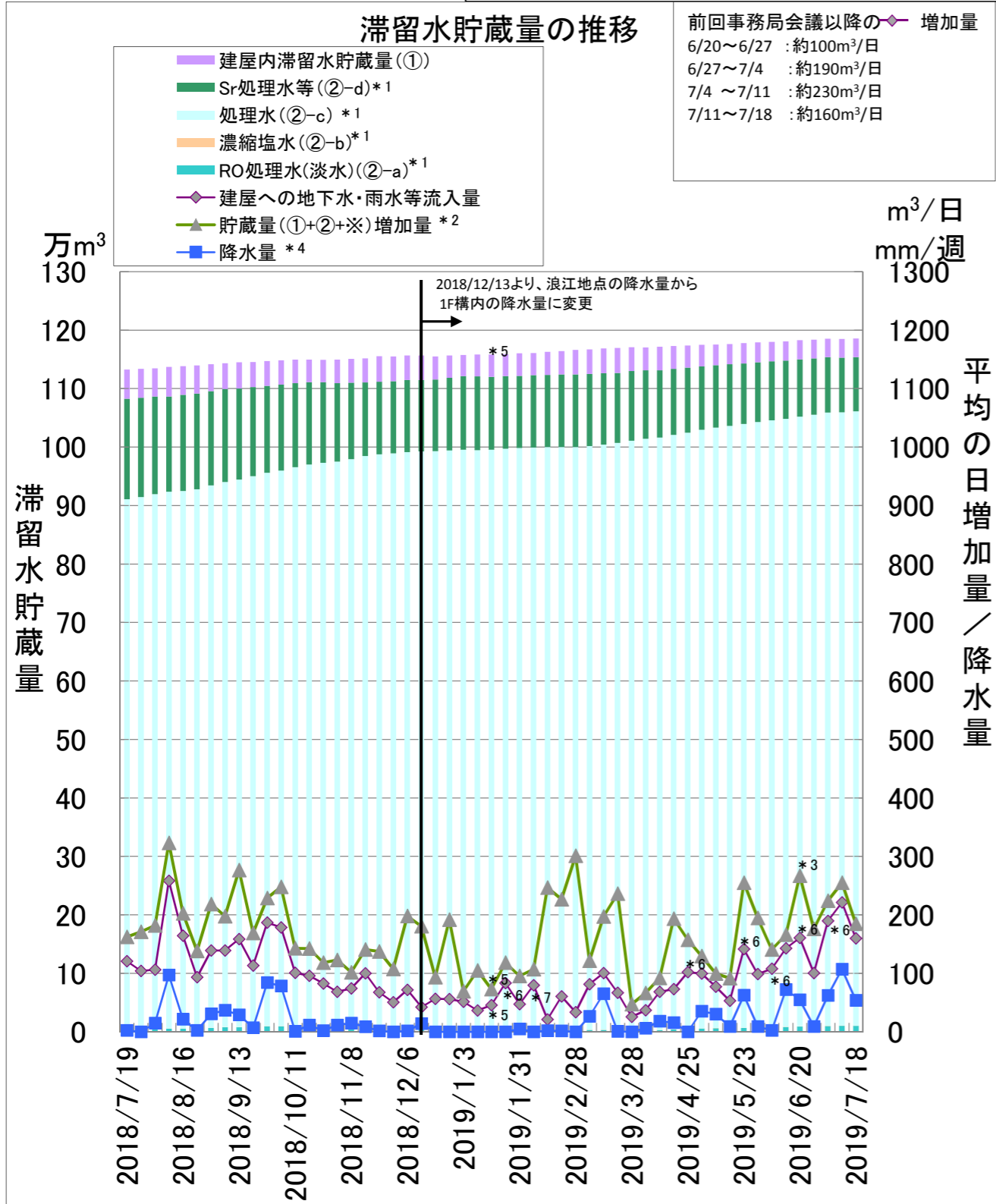
②1~4号機タンク貯蔵量

1~4号機タンク総容量



水量:約1190909[m³]
+3022[m³/4週] *5
+1134[m³/週]
建屋内貯蔵量 + 1~4号機タンク貯蔵量 (①+②)

滞留水の貯蔵状況の推移

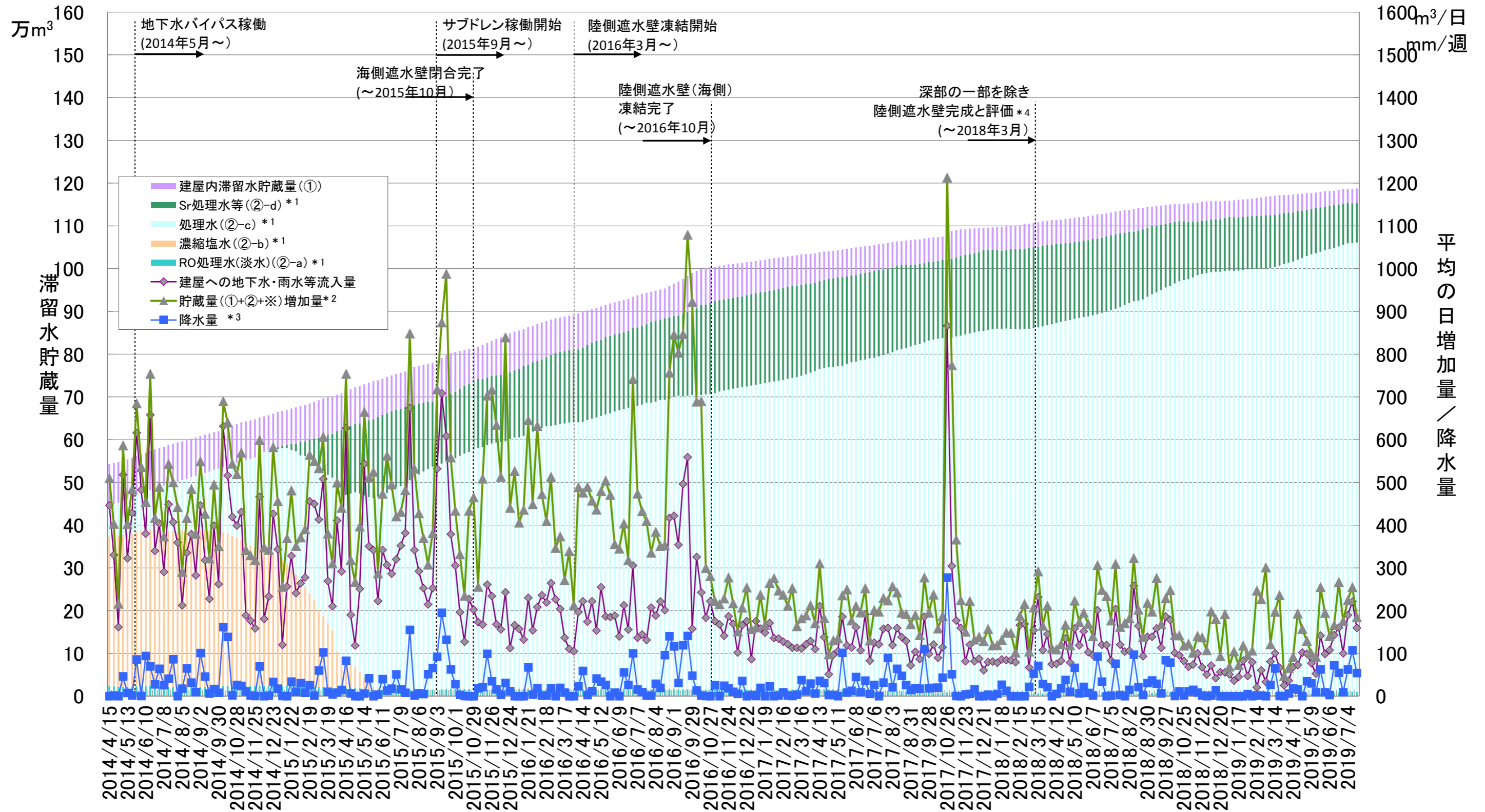


処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	411,114	15	2	750以上
増設多核種除去設備 ^{注2)}	570,082	1,622	232	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等		期間処理水		定格処理量
	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}		[m ³ /日]
セシウム吸着装置	1,078	154		600
第二セシウム吸着装置				1200
第三セシウム吸着装置				600

①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量[(②-a)RO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)
 *1: 水位計0%以上の水量
 *2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)]
 *3: 廃炉作業に伴う建屋への移送により貯蔵量が増加。
 (移送量の主な内訳は①サイト/バンカ建屋からプロセス主建屋への移送:約70m³/日、②ALPS薬液:13m³/日、③ウエル・地下水ドレンからの移送:約12m³/日、他)
 *4: 2018/12/13より浪江地点の降水量から1F構内の降水量に変更。
 *5: 2019/1/17より3号機C/B滞留水を建屋内滞留水貯蔵量に加えて管理。建屋への地下水・雨水等流入量、貯蔵量増加量については2019/1/24より反映。
 *6: 建屋内滞留水の水位低下の影響で、評価上、建屋への地下水・雨水等流入量が一時的に増加したものと推定。(2019/1/17,2019/4/22,2019/5/16,2019/5/30,2019/6/13,2019/6/27)
 *7: 建屋水位計の取替えを実施。(2019/2/7~2019/3/7)
 *8: タンクエリア毎に、タンク水量・容量の算出方法が異なっていたため、全エリアのタンク水量・容量算出方法を統一。統一に伴い、計算上、処理水増加量及びSr処理水等増減量が変動しているが実際の処理量は、処理水:約2200m³/週、Sr処理水等:約1100m³/週。(2019/7/11)

注1) 週間の平均値
 注2) 既設・増設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

(〔②-aRO処理水(淡水)〕+〔②-b濃縮塩水〕+〔②-c処理水〕+〔②-dSr処理水等〕)

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
〔(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)〕

*3: 2018/12/6まで浪江地点の降水量を使用していたが、2018/12/13より1F構内の降水量に変更

*4: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

各エリア別タンク一覧

(2019年7月18日 現在)

1～4号機用貯蔵タンク

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
D	D	31	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
E	E	2	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G3	G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
		32	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
	G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G5	G5	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	残水処理中
G6	G6	33	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G7	G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G1南	G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4北	H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
		38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(I)	H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	H6(II)	17	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H3	H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
B	B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H8	H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
H9西	H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	RO処理水(淡水)	
J1	J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
		2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
		8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
J2	J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	

エリア	堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J4	J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
		5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	K2	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
		26	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種除去設備	高性能多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除去設備	増設多核種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	合計	970				

Sr処理水等内訳 C: セシウム吸着装置等、M: モバイル型ストロンチウム除去装置等
R: RO濃縮水処理設備、A: 多核種除去設備等

濃縮廃液

D	D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

5. 6号機用貯蔵タンク

エリア		基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
		4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
		5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
		2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
		18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
		5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	合計	49				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.7.18時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND (<100) (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約9,300 (2019.1時点) 約9,300 (2019.7時点)	Cs134: 3.4E0 3.0E0 Cs137: 4.8E1 4.9E1 (2019.6.10) (2019.7.3)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する)
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水を貯留
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中であったが2015年11月に調査完了)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)	水抜き済
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3~1.6E7 Sr90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	0 (2015年8月水抜き完了)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)	過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済	水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を実測して算出
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—	撤去済
9	5、6号機逆洗弁ビット及び吐出弁ビット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ビット ・5号機逆洗弁ビット ・6号機逆洗弁ビット	5、6号タービン建屋海側 5、6号機スクリーン近傍	(5号機循環水ポンプ吐出弁ビット) 約550 (6号機循環水ポンプ吐出弁ビット) 約850 (5号機逆洗弁ビット) 約1,500 (6号機逆洗弁ビット) 約1,500	【5号機循環水ポンプ吐出弁ビット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.4E0 【6号機循環水ポンプ吐出弁ビット】 (2016.10.5) Cs134: ND Cs137: 3.7E0 【5号機逆洗弁ビット】 (2016.10.3) Cs134: 3.0E0 Cs137: 1.9E1 【6号機逆洗弁ビット】 (2016.10.3) Cs134: 1.5E0 Cs137: 1.1E1	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 1.4E1 Cs137: 2.5E2 全β: 2.9E2 (2018.4.25) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 4.4E0 Cs137: 4.8E1 全β: 5.9E1 (2018.4.25)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.7.18時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134: 2.9E+4 Cs137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1990 (2019.1.28)	Cs134: 1.6E+02 Cs137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	過去、T/B地下の滞留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炉注ポンプ水源として使用するための準備中)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2030 (2019.1.28) 約2130 (2019.7.16)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2019.4.9) (2019.5.14) H3: 1.2E6 1.2E6 Sr90: ND ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3	RO処理水を貯留 (1~3号機CST炉注水ポンプ水源として運用中のため、量は変動する)
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	0	Cs134: ND Cs137: 1.0E0 全β: ND H3: 7.8E4 (2019.2.14)	水抜き済
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.6E5 4.3E4 (2019.6.19) (2019.7.17) H3: ND ND (2019.6.12) (2019.7.3)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.8E4 4.8E3 (2019.6.19) (2019.7.17) H3: ND ND (2019.6.5) (2019.7.3)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 9.3E4 2.3E4 (2019.6.20) (2019.7.11) H3: 3.9E3 ND (2019.6.6) (2019.7.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —	撤去済
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 3.7E1 3.7E1 (2019.6.20) (2019.7.11) H3: ND ND (2019.6.13) (2019.7.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~400 (2019.5)	Cs134: 2.7E0~5.8E2 Cs137: 3.4E1~7.6E3 全β: 4.9E1~6.6E3 H3: ND~4.1E4 (2018.11~2019.1)	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(凍土壁外)の水抜き・充填完了(残水量: 約400m ³) 量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.7.18時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2018.12.12)	Cs134:7.1E0 Cs137:7.1E1 全β: 7.6E1 H3: 6.2E2 (2019.5.24)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2018.12.19時点)	Cs134:2.9E0 Cs137:4.5E1 全β: 5.6E1 (2018.12.18)	
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.6.30時点) (注)建屋接続部近傍(残水量:約140m ³)を除く	(建屋接続部近傍) Cs134:1.4E7 Cs137:1.8E8 H3: 6.8E5 全β: 1.8E8 (2019.4.18)	充填済 (建屋接続部近傍を除く) 建屋接続部近傍の水抜き実施中
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β: 4.2E6 H3: 1.5E5 (2015.2.27)	充填済 (立坑D上部を除く)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—	充填済 (建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2018.12.10)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β: 4.4E2 H3: ND (2017.10)	
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—	充填済
28	1~4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機腐液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約1~830 (2018.12)	Cs134:ND~2.3E1 Cs137:7.0E0~2.7E2 全β: 5.4E1~7.2E2 H3:ND~1.7E3 (2018.11~2019.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	No.16 Cs134:1.1E5 Cs137:1.6E6 全β: 1.7E6 H-3: 4.9E4 (2019.5.24)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND~3.9E1 Cs137:4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	
31-1	1~4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1~4号タービン建屋海側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2018.12.17) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2018.12.21) (3号機逆洗弁ピット) 0 (2019.3.28) (4号機逆洗弁ピット) 約1400 (2018.12.12)	(1号機逆洗弁ピット) (2018.12.17) Cs134:1.4E3 Cs137:1.7E4 全β: 2.0E4 H3: 1.6E2 (2号機逆洗弁ピット) (2018.12.21) Cs134:3.9E1 Cs137:5.0E2 全β: 5.8E2 H3: 1.6E2 (3号機逆洗弁ピット) (2018.12.12) Cs134:6.5E2 Cs137:7.5E3 全β: 8.8E3 H3: 1.0E3 (4号機逆洗弁ピット) (2018.12.12) Cs134:6.7E1 Cs137:8.2E2 全β: 1.0E3 H3: 1.2E2	3号機逆洗弁ピットの水抜き・充填済

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.7.18時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
31-2	1・4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	1～4号タービン建屋海側	【1号吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —	水抜き済 水抜き・充填済
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海側	約4200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 (2019.6.17) (2019.7.15) Cs134: 8.8E1 4.8E1 Cs137: 1.2E3 5.5E2 全β : 1.5E3 7.1E2 H3 : ND ND	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2～4号機タービン建屋海側	約3600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 (2019.6.17) (2019.7.15) Cs134: 2.1E2 1.4E2 Cs137: 2.8E3 1.9E3 全β : 3.5E3 2.7E3 H3 : ND 1.2E2	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3～4号機タービン建屋海側	約1600 (2018.12.17)	Cs134: 3.0E1 3.7E1 Cs137: 4.1E2 4.7E2 全β : 5.6E2 5.4E2 H3 : 2.8E2 1.8E2 (2019.6.5) (2019.7.3)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134: 7.2 Cs137: 23 I-131: <4.3 Co-60: <4.2 全γ放射能: 3.1E+1 (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1100 (2019.1.29) 約1100 (2019.7.10)	(2019.6.12) Cs134: ND Cs137: ND Co60: 5.3E2	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1700 (2019.1.29) 約1700 (2019.7.10)	(2019.5.23) (2019.6.20) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 1.6E1 2.1E1	プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134: ND～2.2E2 Cs137: ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND Cs134: ND～3.5 全β : ND～4.8 H-3: ND～140 (採水期間: 2017.10～2018.3)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND～5.2E1 (2019.6.19) ND ND～6.1E1 (2019.7.17)	
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3) 約8000 (2019.7.11)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)	バラスト水を貯留 水抜き実施中
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β : 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.7.18時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約4,650 (2019.3.14時点) 約5,700 (2019.7.11時点)	【5号機】 Cs134:ND Cs137:ND H3: ND 全β: ND (2019.5.9) 【6号機】 Cs134:ND Cs137:1.8E0 H3: ND 全β: ND (2019.5.20) ND ND ND ND (2019.6.12) ND 2.4E0 1.2E2 ND (2019.6.19)	2019.3.14より5/6号機復水器の貯留量(約1600m ³)を加味
46	排気筒ドレンサンプピット	・1/2号排気筒ドレンサンプピット ・3/4号排気筒ドレンサンプピット ・5/6号排気筒ドレンサンプピット ・集中Rw排気筒ドレンサンプピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンプピット 約0.3 [※] 3/4号サンプピット 約2 5/6号サンプピット 約5 集中Rwサンプピット 約10 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンプピット】 (2019.3.5) 全β:2.8E7 Cs134:1.4E6 Cs137:2.0E7 【3/4号サンプピット】 (2016.3.17) 全β:1.3E3 Cs134:2.4E2 Cs137:1.1E3 【5/6号サンプピット】 (2015.9.16) 全β:7.6E1 Cs134:1.2E1 Cs137:4.7E1 【集中Rwサンプピット】 (2015.12.17) 全β:7.6E2 Cs134:1.5E2 Cs137:6.6E2	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6～8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	
48	5,6号機海側屋外既設タンク	SPTタンク(5～6号)	物揚場 北側	<タンク> 約500 (2019.1.10) <雨仕舞> 約200 (2019.1.10) <ポンプ室> 約60 (2019.1.10)	<タンク> Cs134:ND Cs137:6.2E1 全β:1.5E2 H-3:2.9E3 Co60:4.9E1 (2019.1.10) <雨仕舞> Cs134:ND Cs137:3.3E1 全β:3.4E1 H-3:1.1E3 (2019.1.10) <ポンプ室> Cs134:ND Cs137:1.8E1 全β:1.5E1 H-3:1.5E3 (2019.1.10)	プラント保有水等を貯留

2018年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

【別紙1-1】

・溜まり水調査結果一覧表 (滞留水がある建屋に接続しているトレンチ)

NO.	場所	今回調査(2018.11~2019.1)								
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※ ⁸	概算溜まり水量 水量(m ³)
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 β	H-3		
1- 1	水処理建屋~1号機T/B連絡ダクト	対策完了 2016. 8								
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	あり	1.0	6.1E+01	7.3E+02	7.9E+02	6.3E+02	<1.1E+02	C	1
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	1.2	5.8E+02	7.6E+03	8.1E+03	6.6E+03	1.2E+03	C	16
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+4.000)	対策完了 2016. 7								
	1号機電源ケーブルトレンチ(OP+7.000)	あり	1.0	2.7E+00	3.4E+01	3.7E+01	4.9E+01	<1.2E+02	C	3
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト	対策完了 2016. 9								
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※ ³	1.0	2.9E+00	4.5E+01	4.8E+01	5.6E+01	ND	C	410
1- 7	1号機共通配管ダクト(北側)	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 8	1号機共通配管ダクト(東側)	あり※ ⁴	1.5	2.2E+02	2.4E+03	2.6E+03	2.9E+03	3.5E+02	C	5
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり	1.6	1.1E+01	1.3E+02	1.4E+02	1.5E+02	<1.1E+02	C	166
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11								
1- 12	2~4号機DG連絡ダクト	あり	1.8	9.5E+00	9.6E+01	1.1E+02	1.4E+02	<1.1E+02	C	1,560
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 14	2号機共通配管ダクト	あり	1.0	3.1E+01	3.9E+02	4.2E+02	3.8E+02	2.7E+02	C	54
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 4								
1- 16	2~3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	あり	1.8	2.0E+01	2.3E+02	2.5E+02	3.0E+02	<1.2E+02	C	3
1- 18	2号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 6								
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 11								
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり※ ⁷	-	-	-	-	-	-	-	825
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 5								
1- 25	3号機オフガス配管ダクト(北側)	あり	1.3	1.6E+01	1.9E+02	2.1E+02	2.4E+02	2.3E+02	C	8
1- 26	3号機オフガス配管ダクト(南側)	あり	1.0	2.1E+02	2.7E+03	2.9E+03	3.2E+03	<1.3E+02	C	14
1- 27	重油配管トレンチ(3, 4号機東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト	あり	1.5	4.8E+01	5.0E+02	5.4E+02	6.4E+02	4.1E+04	C	3
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 10								
1- 31	4号機海水配管(SW)トレンチ	対策完了 2016. 12								
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11								
1- 33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上(2号機廃棄物系共通配管ダクト)	-※ ⁵	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上(2号機廃棄物系共通配管分岐ダクト)	あり	1.6	2.3E+01	2.3E+02	2.5E+02	2.5E+02	1.3E+03	C	1,370
1- 34	共用プール連絡ダクト	対策完了 2013. 2								
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 36	4号機共通配管ダクト	対策完了 2016. 12								
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	対策完了 2017. 7								
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 39	4号機海水配管トレンチ	対策完了 2015. 12								
1- 40	共用プール連絡ダクト	対策完了 2016. 12								
									計	4,438

※¹ 高線量エリアのためアクセスができない箇所※² 支障物により内部状況が確認できない箇所※³ 支障物, 対策済み等により採取場所を変更した箇所※⁴ 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため, 測定箇所を変更した箇所※⁵ トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり, 採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所※⁶ 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所※⁷ 陸側遮水壁の影響により溜まり水の状況が確認できない箇所※⁸ 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/Lレベル以上(Cs計濃度) B: 10⁵Bq/LレベルC: 10⁴Bq/Lレベル以下

2018年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

【別紙1-2】

・溜まり水調査結果一覧表（滞留水がある建屋に接続されていないトレンチ）

NO.	場所	今回調査(2018.11~2019.1)								溜まり水の区分 ※8	概算溜まり水量 水量(m ³)
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果(Bq/L)							
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3			
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 2	1~2号機ケーブルダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 4	1号機ボイラー室電気品室連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 5	1~4号機発電機注入用窒素ガスボンベ室連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり※2	-	-	-	-	-	-	-	-	6
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.8	1.5E+01	1.7E+02	1.9E+02	1.9E+02	<1.1E+02	C	505	505
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	7.5E+00	9.5E+01	1.0E+02	1.3E+02	1.2E+02	C	293	293
2- 9	1号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 12	1号機活性炭ホールドアップダクト	あり	1.3	2.3E+01	2.7E+02	3.0E+02	3.2E+02	<1.2E+02	C	172	172
2- 13	1~4号機共用所内ボイラートレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.4	3.5E+00	5.8E+01	6.1E+01	7.6E+01	<1.2E+02	C	606	606
2- 15	2号機変圧器防災用トレンチ	あり	3.1	1.7E+01	1.6E+02	1.8E+02	7.2E+02	1.7E+03	C	1	1
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	__※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 18	2~3号機共用所内ボイラートレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 20	消火配管トレンチ(2~3号機T/B間)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	2.6	7.6E+00	1.1E+02	1.2E+02	1.9E+02	<1.2E+02	C	369	369
2- 24	3号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 25	3号機防災用窒素配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 26	3~4号機重油配管トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	1.0	4.5E+00	5.0E+01	5.5E+01	5.4E+01	<1.2E+02	C	828	828
2- 30	4号機変圧器防災用トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 31	No.4, 5軽油配管トレンチ	あり	1.2	1.2E+01	1.4E+02	1.6E+02	1.6E+02	<1.2E+02	C	19	19
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	1.9	<1.5E+00	7.0E+00	7.0E+00	5.7E+01	1.9E+02	C	14	14
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 46	消火配管トレンチ(3・4号機排気筒南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	__※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2-追加1	1号機逆洗弁ピット	あり	1.7	1.4E+03	1.7E+04	1.9E+04	2.0E+04	1.6E+02	C	298	298
2-追加2	2号機逆洗弁ピット	あり	1.8	3.9E+01	5.0E+02	5.4E+02	5.8E+02	1.6E+02	C	822	822
2-追加3	3号機逆洗弁ピット	あり	1.5	6.5E+02	7.5E+03	8.1E+03	8.8E+03	1.0E+03	C	828	828
2-追加4	4号機逆洗弁ピット	あり	1.6	6.7E+01	8.2E+02	8.9E+02	1.0E+03	1.2E+02	C	1,344	1,344
2-追加5	1号機放水路	あり	1.8	2.0E+02	2.4E+03	2.6E+03	3.2E+03	2.0E+02	C	4,166	4,166
2-追加6	2号機放水路	あり	1.7	1.0E+02	1.1E+03	1.2E+03	1.7E+03	1.7E+02	C	3,577	3,577
2-追加7	3号機放水路	あり	1.8	4.2E+01	4.6E+02	5.1E+02	5.6E+02	1.9E+02	C	1,549	1,549
2-追加8	4号機放水路	あり	1.0	2.5E+00	2.1E+01	2.3E+01	1.8E+01	<1.2E+02	C	79	79
計										15,476	

※1 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※2 支障物により内部状況が確認できない箇所

※3 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※4 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※5 トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※6 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※7 陸側遮水壁の影響により溜まり水の状況が確認できない箇所

※8 溜まり水区分 A:10⁶Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B:10⁵Bq/Lレベル

C:10⁴Bq/Lレベル以下

1～4号機用汚染水貯蔵タンク 水量・容量算出方法の統一について

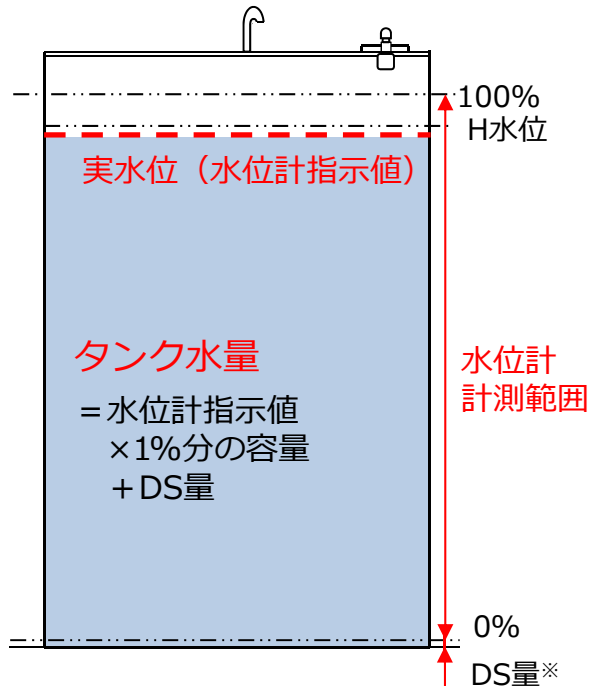
2019年7月25日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

タンク水量・タンク容量算出方法の統一について

- タンクエリア毎に、タンク水量・容量の算出方法が異なっていたため、今後、全エリアの算出方法を統一
- 全エリアの算出方法統一により、既に公表済のタンク水量・容量を変更



※：ダウスケール(DS)量とは、水位計の計測下限値未満水量を示し、算出にあたってはタンク底面積と0%位置までの高さにより算出している。

【タンク水量の計算式】

$$\text{水量} = \text{水位計指示値}[\%] \times 1\% \text{分の容量}[\text{m}^3/\%] + \text{ダウスケール(DS)量}[\text{m}^3]^*$$

【内容】

- 1%分の容量の算出にあたり、以下の設定法が存在していたが、今後は設定法①に統一
 - 設定法①：水位計計測範囲（0から100%まで）の容量を百等分
 - 設定法②：タンク図面よりタンク満水（底部から100%まで）の容量を百等分上記設定法の違いは、設定法②が設定法①よりもタンク1基あたり約0.2%分の水量が多くなる設定となる。
- 1%分の容量算出後の端数処理において、切り捨てる桁数を統一

【タンク容量の計算式】

$$\text{容量} = \text{H水位設定値}[\%]^* \times 1\% \text{分の容量}[\text{m}^3/\%] + \text{ダウスケール(DS)量}[\text{m}^3]$$

※H水位設定値：移送ポンプの自動停止水位

【内容】

- 1%分の容量算出において、タンク水量の計算式と同様に設定法①と設定法②が混在していたため、設定法①に統一

算出方法統一後のタンク水量・タンク容量について

- 算出方法の統一を7月11日集約分の水処理週報（7月16日公表）から反映
- 統一前後での影響は下記の通り。

【タンク水量】

[2019年7月11日5:00時点]

	ALPS処理水 (m ³)	Sr処理水等 (m ³)
タンク水量【統一前】	1,045,060	93,642
タンク水量【統一後】	1,043,051	93,436
【統一後】 - 【統一前】	△2,009	△206

【タンク容量】

[2019年7月11日5:00時点]

	ALPS処理水 (m ³)	Sr処理水等 (m ³)
タンク容量【統一前】	1,096,700	132,700
タンク容量【統一後】	1,094,600	132,500
【統一後】 - 【統一前】	△2,100	△200

【参考】

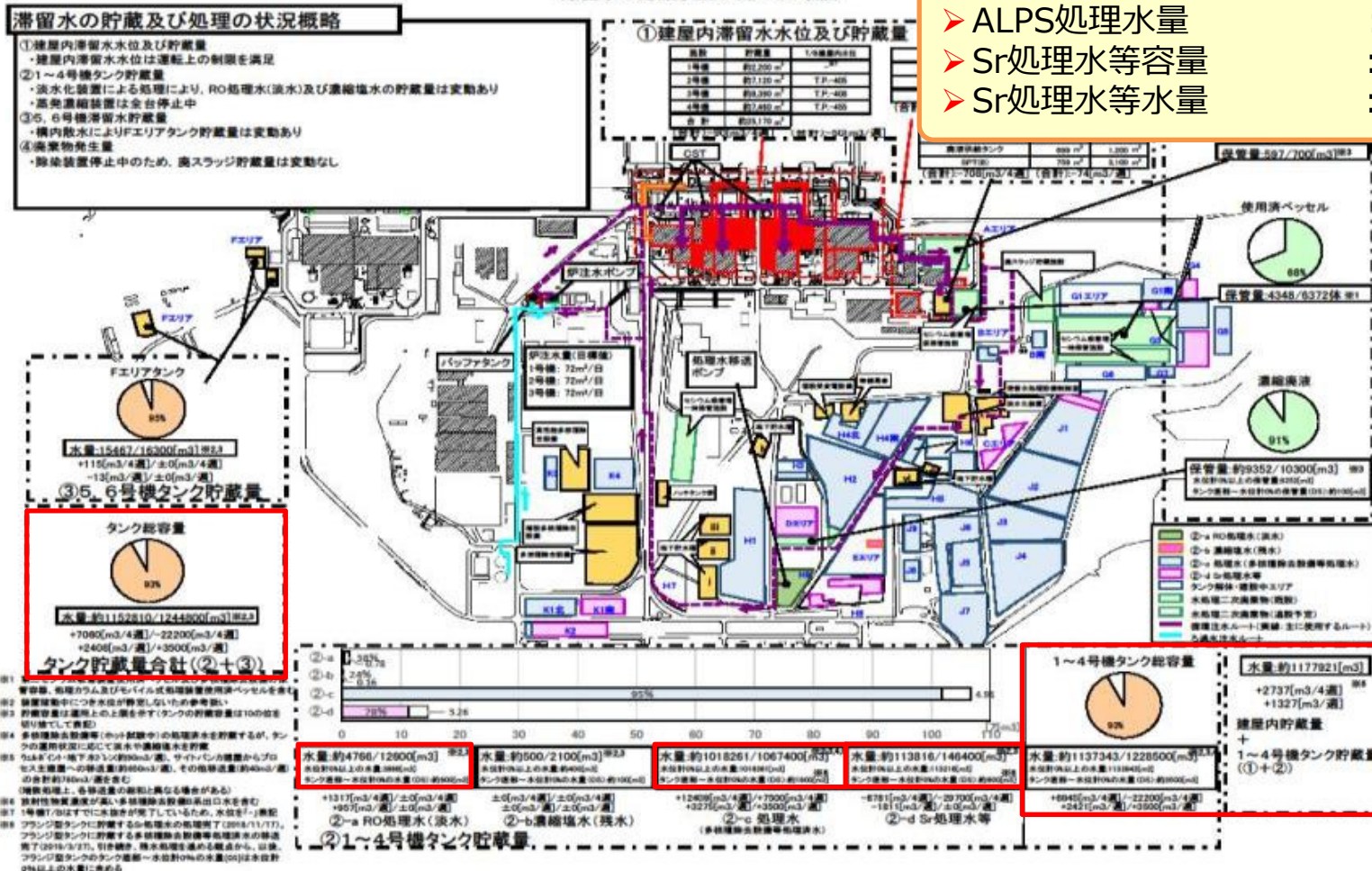
公表資料への反映：水処理週報及びチーム会合事務局会議資料（貯留水の貯蔵容量）



- 水処理週報は、7/11集約データを用いてタンク水量・容量を変更し、7/16に原子力規制庁へ提出
- チーム会合事務局会議で公表している数値は7月分より反映

【廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議資料】

滞留水の貯蔵状況(4月18日時点)



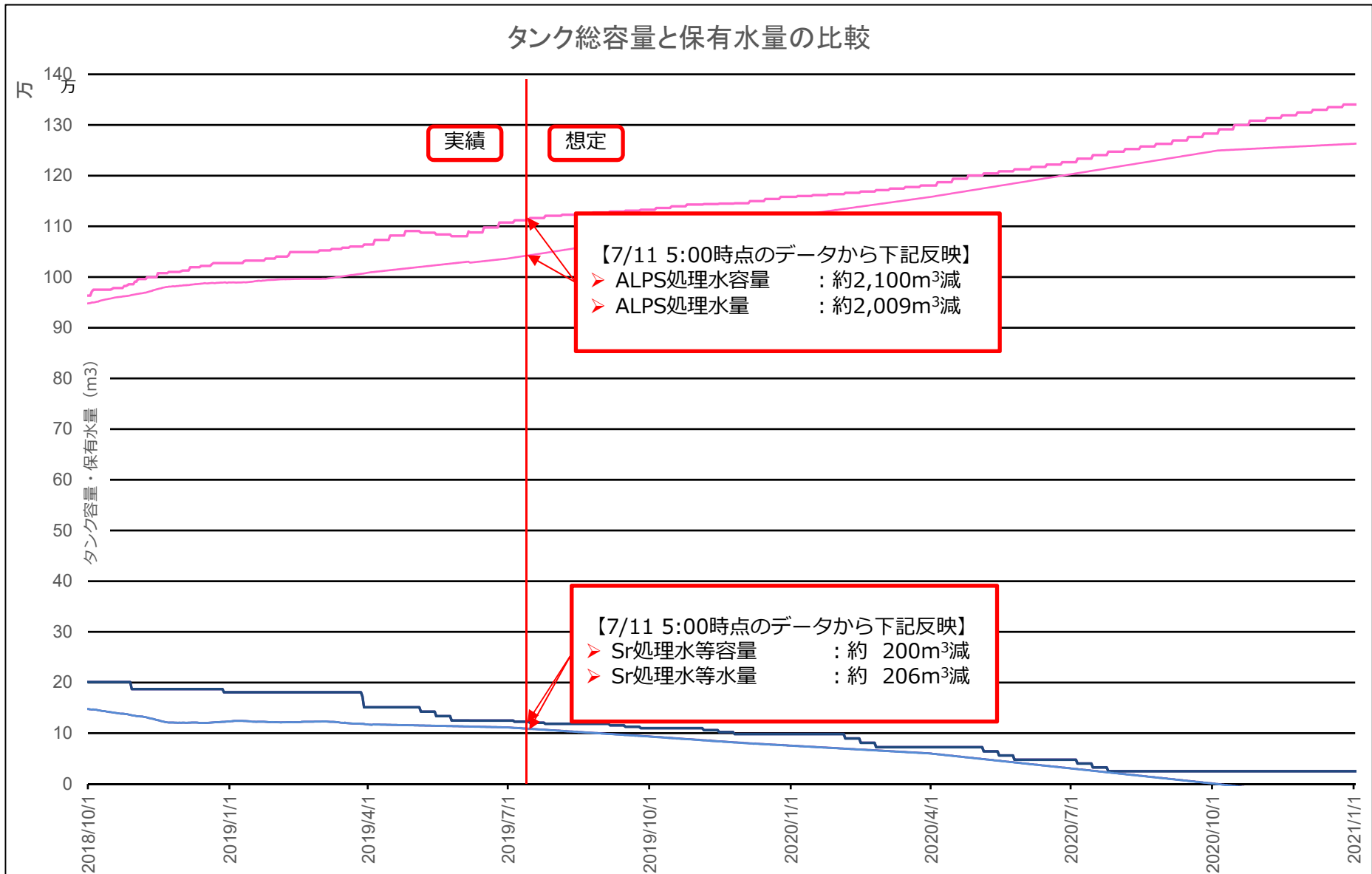
- ALPS処理水容量 : 約2,100m³減
- ALPS処理水量 : 約2,009m³減
- Sr処理水等容量 : 約 200m³減
- Sr処理水等水量 : 約 206m³減

【参考】

公表資料への反映：チーム会合事務局会議資料（水バランスシミュレーション）



【廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議資料】



【参考】

公表資料への反映：処理水ポータルサイト（1 / 2）



【処理水ポータルサイト】



タンク内処理水の貯蔵量

処理水の貯蔵量(2019年4月18日現在)

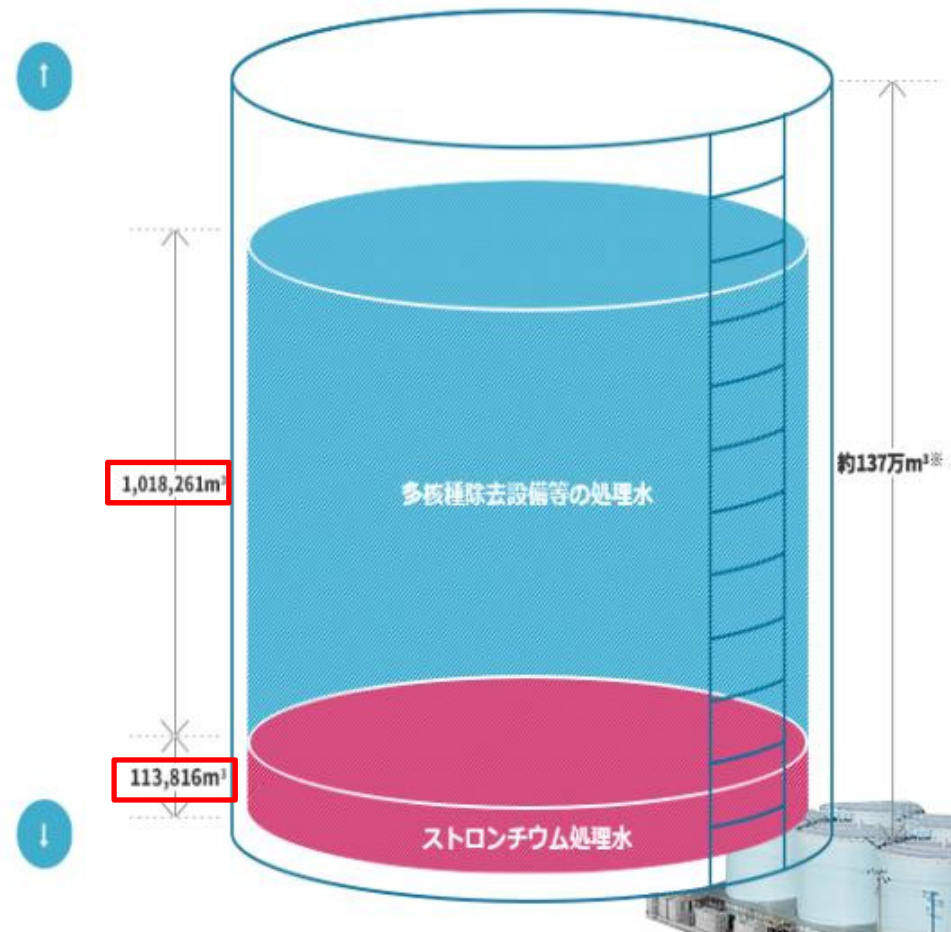
1,132,077 m³

*水位計の測定下限値からタンク底部までの水を含んだ貯蔵量

本資料は「廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議」後、毎月更新しているため、7月25日の同会議後に更新する。

なお、更新にあたっては先月からのALPS水量及びSr処理水等水量の増減が含まれる。

TOP お知らせ **処理水の現状** 処理の経緯 Q&A リンク・データ集 ENGLISH



【参考】

公表資料への反映：処理水ポータルサイト（2 / 2）



【処理水ポータルサイト】



多核種除去設備等の処理水の貯蔵量（2019年3月31日現在）

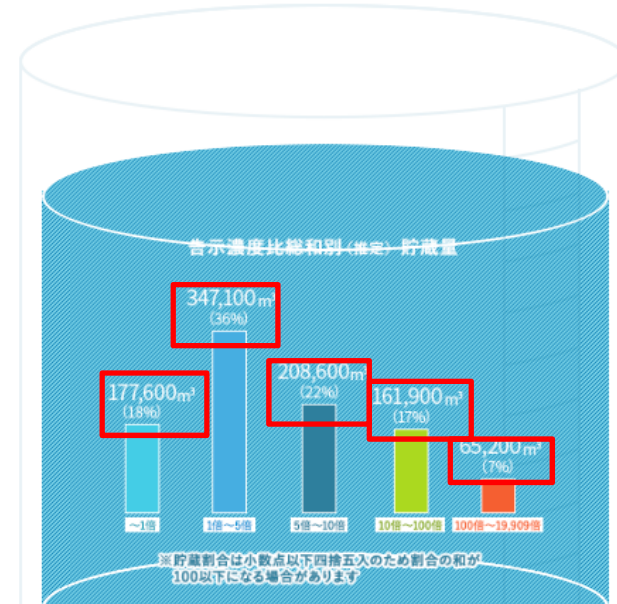


現在、多核種除去設備等の処理水^①は、トリチウムを除く大部分の放射性核種を取り除いた状態でタンクに貯蔵しています。

多核種除去設備は、汚染水に関する国の「規制基準」のうち、環境へ放出する場合の基準である「告示濃度」^②より低いレベルまで、放射性核種を取り除くことができる（トリチウムを除く）能力を持っています。ただし、設備運用当初の不具合や処理時期の運用方針の違いなどにより、現在の告示濃度比総和別^③の貯蔵量



※



○ポータルサイト掲載 告示比毎のALPS処理水貯蔵量について

- ・このデータは、4半期ごとに新たに満水になったタンクについて集約時（各四半期末）の水位計指示値から貯留量を算出し告示比（推定値）毎に積算した値。
- ・統一後の公表としては、処理水ポータルサイト（処理水の貯蔵量）の更新に合わせて7月末に更新する。

【参考】スケジュール

2019年度		
6月	7月	8月
	<ul style="list-style-type: none">■ 事務局会議 (6/27) (統一案の説明)▼ データ反映 (7/7~)■ 週報提出 (7/16公表)	<ul style="list-style-type: none">■ 事務局会議 (7/25) (統一後のタンク水量及び容量反映)■ 処理水ポータルサイト更新